

「緊急のお願い」 暖房器具・冬物の衣類の支援を！

東北は寒くなりました。朝晩はグッと冷え込み、ストーブを点けるようになりました。それなのに、各市町村により対応はまちまちですが、いまだに暖房器具の支給がないところもあるとか…。そこで市民協が窓口となり、「東松島市のひびき工業団地」150戸に電気カーペットを贈るプロジェクトをスタートさせました。もう一度、災害に遭われた方々に支援の手を差し伸べてくださいませんか。あなたの温かい手を必要としています。

心ある方は、最後に振込先を記載しますので振込をお願いいたします。(1口5千円)
また、コート等の衣類の送り先は仙台事務所へお願いいたします。

■コンテンツ

- ・第5回パラソル喫茶 in 東松島市 (9/4)
- ・第6回パラソル喫茶 in 東松島市 (10/2)
- ・第4回パラソル喫茶 in 亘理町 (9/15)
- ・パラソル喫茶 in 仙台市(若林区) ⑫
- ・パラソル喫茶 in 仙台市(若林区) ⑬
- ・パラソル喫茶 in 仙台市(若林区) ⑭
- ・ご支援ありがとうございました
- ・パラソル喫茶 in 仙台市(宮城野区) ⑮
- ・パラソル喫茶 in 仙台市(若林区) ⑯
- ・パラソル喫茶 in 仙台市(若林区) ⑰

■ 第5回パラソル喫茶 in 東松島市 (9月4日)

・参加者35名：田中さん、ふれあいネットまつど15名、アラジン4名、ボランティア2名、セーブ・ザ・チェルドレン5名、佐賀県2名、前見チーム3名、事務局3名、参加者が多いこともあって「ひびき工業団地」の中で2ヶ所に分かれて実施。一方、前見チームとセーブ・ザ・チェルドレンは仮設と仮設の屋根にルーフ(テントのようなもの)を掛け、そこに子どもたちの絵を描こうとワークショップを行いました。

まつどチームが主軸となって喫茶を開始。松戸で募集した市民ボランティアのキーボードに合わせて即席の唄声喫茶がオープン。軽食(ホットドッグ)をつまみながら、唄を歌ったりお茶を飲んだり、楽しいひとときを過ごしました。

台風一過の晴天とはいえ、風が強く、パラソルを閉じたままでの喫茶となりました。初めての場所でしたが、お湯が足りなくなると家で沸かして持ってきてくださる方や、来られない人にお菓子を持って行ってくださる方もいて、気配りのできる親切な方が多いように感じられました。



■ 第6回パラソル喫茶 in 東松島市（10月2日）

・参加者 48 名：WAC 16 名、ふれあいネットまつど 14 名、アラジン 5 名、ボランティア 3 名、秋山チーム 3 名、アロマチーム 2 名、佐賀県 2 名、事務局 3 名、

2泊3日の「パラソル喫茶体験ツアー」に参加した WAC (Wonderful Aging Club) の会員も交えて3ヶ所に分かれて実施。東松島市の仮設所は 25 ヶ所あり、私たちが活動している「ひびき工業団地」は 200 戸以上ある大きな仮設所 4 ヶ所の中の一つです。しかし「ひびき」は地形の関係からさらに 6 ヶ所に分かれていて、端から端の仮設までの距離は約 1 km、しかも坂があるので歩いて行き来するのは大変で、コミュニティとしてまとめていくにはご苦労が多い所と言えます。

WAC が担当。昨日は山元町で喫茶を体験し、今日は 2 回目ということもあって、慣れた手つきでコーヒーを淹れていました。この場所には馴染みの方も多くいて、喫茶はすっかり日常となっています。

まつどチームが担当。松戸市民のボランティアも参加して一生懸命に交流に努めています。この場所での喫茶は初めてでしたが、入居者の思いやニーズを聞き出すことができました。

アラジンの男性陣など混成チームが担当。前回来た時の子ども達や、ちょっと離れた所にある仮設の人達も来てくつろいでいかれましたが、冬に向かって、寒さ対策が不十分だと嘆いていました。



ひびき工業団地仮設全体図

■パラソル喫茶 in 仙台市（若林区七郷中央公園）⑫



9月6日（火）、「パストラルケアチーム」が担当。リーダーの伊藤さんがフラワーセラピーをしているので、集会所の半分を使ってフラワー教室、後の半分を使って喫茶を開始しました。事前に申し込んでいた 10 名で楽しそうに作っていると、それを見ていた男性も興味を示し飛び入り参加。同じ材料で作るのに、それぞれの個性が出ており、どれ一つとっても同じものはありません。

作品を仕上げた後、一人ひとりが自分で作った花を手に写真を撮ると、場は一気に盛り上がり華やかになりました。近くの借り上げ住宅に住む女性は「また来たいので連絡してください」と言って帰られました。【パストラルケアチームは、心の痛みとケアについて学んでいるグループです】

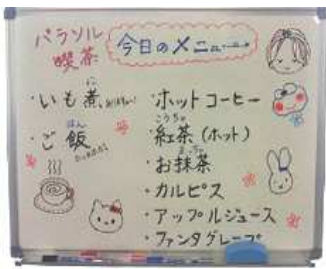
■パラソル喫茶 in 仙台市（若林区 JR 南小泉アパート）⑬

9月10日（土）、「さくら会」が担当。JR 南小泉自治会主催のお祭りに同時参加しました。聞けば発案した数グループが何回も打ち合わせを行っての初めてのお祭りとのこと。アパートの棟と棟の間の芝生には幾つもの白テントが並び、ちょっとした運動会の時のような雰囲気です。ビール、焼き鳥、地区の民謡グループや子ども達の踊りもあって、本当に震災後のお祭りを満喫しているようでした。参加者はこのアパートに住んでいる人ばかりでなく、周辺に散在している借り上げ住宅の人達も来ており、お友達に誘われたからと嬉しそうにおしゃべりしていましたが、「こういう催しや集まりがあったら教えてほしいけれど、誰に言えば良いのかしら？いつもお友達から電話で知らせていただくのは悪いし…」と遠慮がちでした。仙台市では今、早急に被災した方々を対象と

した情報発信を進めていますので、そのうちに情報が届くようになるとお伝えしましたが、それまでは個別に連絡することを約束して別れました。

■パラソル喫茶 in 仙台市（若林区七郷中央公園）⑭

9月11日（日）11時～15時、「茂庭台すずめの宿」が担当。お昼にかかるといってもあって、軽食として芋煮とご飯・漬物を準備してスタート。すると、本当にたくさんの方達に参加して頂き大盛況でした。後で聞きますと、ふだんスーッと通り過ぎて行く男性も、「芋煮があるから寄っていかない？」と誘うと、恥ずかしそうにしながらも椅子に座って食べていったそうです。やはり“食はコミュニケーション”のきっかけになりますね…。



そして喫茶という居場所は“みんなの居場所”。今日は、民謡の達人のワンマンショーとなりました。以前から数々のステージに出ていたというだけあって、その歌声といい、声量といい、セミプロクラスで本当に聴き惚れてしまいました。でも、この仮設では大きな声を出して発声練習をすることも出来ず、久し振りに歌ったと嬉しそうでした。

■パラソル喫茶 in 仙台市（宮城野区岡田西町公園）⑮

9月14日、ナルクが担当。大阪のナルクからボランティア参加している方がハンドマッサージをしましたが、これがなかなかの好評で「身体の疲れがとれた。心が安らぐ」という声が多数寄せられました。美味しいコーヒー等を提供するばかりでなく、ハンドマッサージや足湯等、ちょっとひと工夫すると、よりいっそうリラックスし、気分転換を図ることができるようです。皆さん、一様にこやかな笑顔で接して下さいますが、「思いっきり泣きたい時もある」「家に居ても何もすることがなく、ただゴロゴロしているのは惨め」と本音を吐露して下さる方もいました。



■パラソル喫茶 in 仙台市（若林区荒井小用地）⑯

9月15日（木）、ナルクが担当。自治会長さんからのお願いもあり、京都文教大学の学生や教職員19名とのコラボ（協働）で喫茶を実施。持参された京都の銘茶や有名菓子に、皆さん十分に満足されていたようです。でも、ナルクの特長となっているSさん手づくりのマドレーヌも好評で、「このお菓子を食べに来たのよ～」「またお会いしましたね～」と言って下さる方もいて、ようやく認知されつつあることを実感。本音の話が出るようになりました。しかし相変わらず、遠巻きに見ている人もいて、今後どのように引き込むか課題です。



ここでもハンドマッサージが好評で、震災疲れの一定の癒しになると実感しました。

■ 第4回パラソル喫茶 in 亶理町（亶理町公共ゾーン）558戸

9月15日（木）、「ささえ愛山元」が担当。10時に着くと、パラソルの下、既に椅子やベンチには空席がないほどビッシリと埋め尽くされ、大盛況の様子。スタッフのSさんの地元とあって、知り合いが多く、皆さん和やかに歓談されていました。しかも、同じ地区の方がまとまって入居しているとあって、お互いに声を掛け合い励まし合っていると話されていました。1時間経った頃、「ささえ愛山元」に寄せられた支援物資等を広げると、一斉にそちらに移動。男性も数多く喫茶に参加していたのですが、物資のほとんどが女性用で、「いつも自分の分はないんだ」と言っているのが気になりました。

先日、「ささえ愛山元」の活動がテレビで紹介されていたのですが、その時の眼の不自由なWさんが来ていることに気づき、色々話を伺っていると、家が半壊し近々仙台市に引っ越すとのこと。「せっかく“ささえ愛山元”と出会い安心していたのに、引っ越し先では誰に頼ったら良いのか分からない」と不安そうにしていたので、その近くにあるNPOを紹介することを約束しました。



■パラソル喫茶 in 仙台市（若林区 JR 南小泉アパート）⑰

9月19日（月）、「パストラルケア」が担当。小雨まじりの中、仮設の役員の方々がテントの準備をして待っていてくださいました。ここは民間アパートを借り上げての仮設住宅なので、集会所がありません。しかし、こうやって工夫をすれば皆が集まるスペースをつくることができます。テントの中でのサロン、ちょっと寒かったかもしれませんが、お互いの体験談に耳を傾けていました。後から子ども達も参加し、唄や踊りを踊って楽しく過ごしました。しかし、中には他県から来ている人もいましたが、仙台市内を見ることもなく過ごしていることを知り、ちょっと気になりました。早くこの仮設の皆さんや仙台市内に馴染むことを願っています。



■ ご支援ありがとうございました。

- ・福井県のわくわくネットはくい様より本や雑誌を送って頂き、ささえ愛山元にお届けしました。
- ・福井県の定免さんより、盛岡に向かう途中仙台に寄ってくださり、支援金3万円を頂きました。
- ・神奈川県の本根さん、ナルクの隠れ会員だそうです。メルマガを読んでくださって手づくりのパッチワークの鍋つかみを40枚と、支援金1万円を送ってくださいました。
- ・株式会社ナイスデイ様（寝具などのネット販売の会社）より毛布41枚とこたつ布団2枚提供していただきました。
- ・パラソル喫茶に参加したWACから支援金5,000円をいただきました。

★ 連絡先

〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目2-7 第5TASビル401

☎ 022-342-9155 FAX 022-342-9156 fukushi.npo.shien@gmail.com

★ 振込先 七十七銀行高森支店 普通預金 5348455

(特定非営利活動法人) 市民福祉団体全国協議会 理事 近藤明美